



打撃練習を行う八学光星の伊藤(7日午後、兵庫県西宮市・大阪ガス野球場)

あす初戦 食らい付く

光星、打撃練習などに汗

大会第3日の第1試合(9日午前8時試合開始予定)で、地元市尼崎(兵庫)との1回戦に臨む八学光星は7日午後、兵庫(西宮市)の大阪ガス野球場で約2時間、打撃練習などに汗を流した。

シートノックの後、約1時間半を打撃練習に当てた仲井監督。ナインは115メートルに設定したマシンのスライターと、右投げの打撃投手の直球を力強く振り抜いていた。ヒットエンドランを想定し、どんな球にも食らい付く練習も行った。

県大会でチームトップの10打点を挙げ、好調を維持している小林は「いい感じで打っている。チャンスで回ってくる人が多いので、コンパクトに自分の打撃をしたい」と意気込んだ。仲井監督は練習後、「しっかりと気持ちを上上げていき、試合では隙なく、120パーセントの力を出そう」とナインを鼓舞した。

8日は朝から兵庫県伊丹市の伊丹スポーツセンターで、初戦前の最終調整を行う。(本田海輝)

光星 甲子園だより

吉村 健汰 内野手(3年)



「顔が四角いから、いろんなあだ名を付けられる」といういじられキャラ。後輩からもニックネームで呼ばれることがある。

長打力を見せたい

「心が掛ける平常心」で、本場仕込みの突っ込みを入れる日々だ。大の阪神ファンで、大阪では毎日放送されるといふ阪神戦を宿舍で観戦し「モチベーションを上げてます」。練習ではフルスイングで指揮官にアピールし、聖地で「期待されている長打力を見せたい」と鼻息が荒い。

(大阪府・城東中出身、174センチ、77キロ、右投げ右打ち)